

を以て勞友會の復活に努め、一方關西に於ては失業大會を開催された。

五月十五日には大阪鐵工組合大懇親會が中央公會堂大食堂で行れたり横田千代吉氏の挨拶に續いて、組合員及び來賓の盛んなる卓上演説が行れ、京大教授神戸正雄博士の講話あり來會せる七百有餘の勞働者がおでん三串にビール一瓶を由海珍珠に代へ浪花節尺八の餘興に歡呼し、滿堂渾然として抱き合つたのである。その日の會合は會費一圓を徴收したのである。一方堺に於て阪本氏等勞働演説を試み、宣傳部辯論會は中央公會堂に於て前後數回に亘つて行ひ、婦人辯士も加つてゐた。其外殆んど毎月勞働運動坐談會を催し。

代議員會は八年十一月四日第一回を召集し、組合長に横田千代吉氏を理事長に阪本孝三郎氏を推舉し、九年八月三十日迄八回代議員會を催し重要事項を議決し九月一日總改選を行ひ、九月四日五日の兩日中央公會堂に於て第九回代議員會を催し

1 産業勞働組合主義

- 2 産業自治制の確立
- 3 低賃金率の確立
- 4 生産組合の確立
- 5 消費組合の確立
- 6 八時間勞働制の實施
- 7 産業會議所の設立
- 8 普通選舉の實施
- 9 働勞保險の確立
- 10 勞働不能老衰者の救濟
- 11 勞働者の失業防止
- 12 勞働者の住宅改善
- 13 教育制度の民本化
- 14 全國病院の公有化
- 15 勞働法の改正